

## 株主メモ(株主のご案内)

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	
定時株主総会	毎年3月開催	
基準日	定時株主総会	毎年12月31日
	期末配当金	毎年12月31日
	中間配当金	中間配当を実施するときは6月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日	

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および  
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701  
東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-176-417

(インターネット  
ホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 当社のホームページに掲載する < <http://www.fancs.com> >  
ただし、やむをえない事由により電子公告を行うことができない場合は、  
日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 大阪証券取引所 JASDAQ市場



株式会社ファンコミュニケーションズ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-8青山ダイヤモンドビル8階  
社長室 IR担当: Tel. 03-5766-3530 Fax. 03-5766-3782

<http://www.fancs.com/>



# ファンコミュニケーションズ VOICE

第12期 [通期] 報告書 2010.1.1・2010.12.31



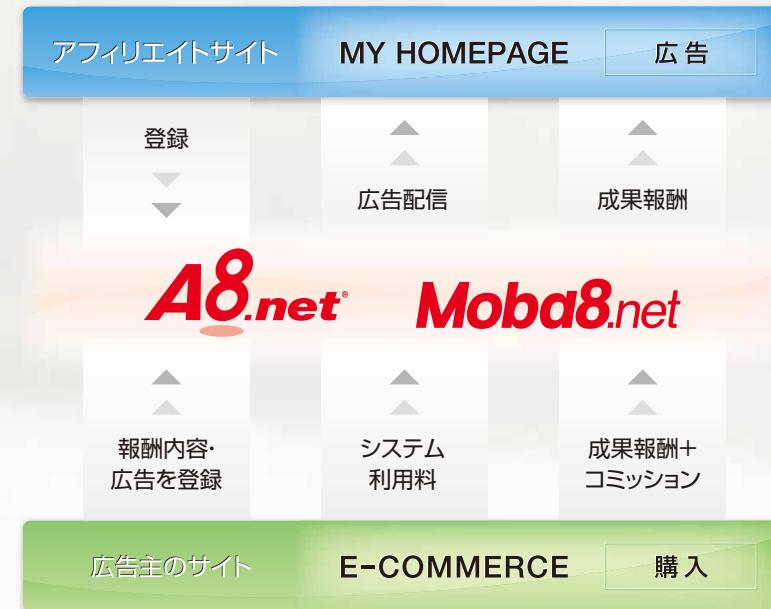


## アフィリエイトサービス

当社はインターネット上でマーケティング活動を行う企業に対して、パソコン向けアフィリエイト広告サービス「A8.net」および携帯向け同サービス「Moba8.net」を提供しております。このアフィリエイト広告は「成果報酬型広告」とも呼ばれ、広告主のWebサイトにおいて何らかの成果（購買、資料請求、会員登録など）が発生した場合に、送客元であるアフィリエイトサイト（広告主へのリンクを掲載するサイト）に対して成果に応じた報酬を支払う広告形態です。広告主にとっては広告目的が達成された場合に成果報酬を支払えばよいいため費用対効果が高く、アフィリエイトサイトにとっても媒体のスペースを活かした収益獲得が可能となるため、インターネット広告業界において浸透しつつある新しい広告手法です。

## 自社メディア運営

当社は携帯向けサイトを中心に、情報サービスなどを提供するサイトを開発、運営しています。魅力のあるコンテンツや関心の高いテーマにより、多数のアクセスを集めることで媒体価値を高め、広告スペースの販売を行います。また、アフィリエイト広告



## モバイル向けアドネットワークサービス

携帯サイト向けのクリック課金型アドネットワーク「adocavo（アドカボ）」と、スマートフォン向けのクリック課金型・インプレッション課金型アドネットワーク「nend（ネンド）」の2つのアドネットワークサービスを運営しております。「adocavo（アドカボ）」では独自のセグメント機能による効果の高い広告を携帯ユーザーに向けて配信。「nend（ネンド）」ではiPhoneやAndroid携帯など、急速に普及するスマートフォンからのアクセスを判定し、広告を配信しています。

adocavo.net

nend nend-ネンド-

サービスのパートナーサイトとしても収益化を図っています。SampleFan.com（サンプル情報サイト）、aquabee!（携帯向け検索・ブックマーク共有サイト）、歌ネットモバイル（携帯向け歌詞検索サイト）などをはじめ、さまざまなサイトを運営しています。

Sample Fan.com

aquabee!

Uta-Net

MyApply





## 新たな時代の動きを的確にとらえ、 業界での確固たる地位を築きます。

スマートフォンやソーシャル・ネットワークなど新しいデバイスやサービスが登場し、ネットマーケティング業界も大きな変動期を迎えております。この動きに遅れることなく、着実にチャンスをとらえて「アフィリエイト広告ならファンコミュニケーションズ」といわれるような確固たる地位を目指します。

代表取締役社長 柳澤 安慶

### 10期連続の増収、 3期連続の増益を達成できました。

#### Q 当期の業績について感想を聞かせてください。

A 当期は前期に続き売上高、営業利益、経常利益、純利益のすべてが過去最高を更新いたしました。しかしながら、期首に立てた計画からはやや下振れする結果となってしまいました。原因は、ソーシャル・ネットワークの普及や携帯電話のスマートフォン化など、当

社の事業環境が大きく変化したことが挙げられます。一方、当社のサービスもそうした変化に対応するため、当期はさまざまな改善や対策を進めてまいりました。結果、下期には月次売上が過去最高になるなど、変化への対応がかなり進んできたと感じております。

#### Q 具体的な改善や対応策について教えてください。

A まず挙げられるのが、当社のサービスの新しいデバイスへの対応です。パソコンや従来の携帯電話ばかりではなく、スマートフォンからも当社のサービスが利用できるようにシステム的な拡張を行いました。

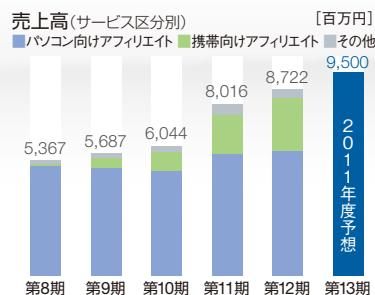
次に、ソーシャル・ネットワークに可能な限り当社の取り扱い広告情報を露出しやすくするような仕組みの改善に努めました。スマートフォン向けの新たな広告配信ネットワークをリリースし、次期以降の事業展開に布石を打つと同時に、全社的にソーシャル・ネットワークやスマートフォン対応が重要課題であることも啓蒙し、意識改革を図ってまいりました。

**日本最大級のサービスを持つ強みを  
今後も生かして競争力を高めていきます。**

#### Q 次期の事業展開についてどのように考えていますか。

A 基本的な事業戦略に大きな変更はありません。当社の最大の強みである日本最大級のアフィリエイト広告ネットワークである「A8.net」「Moba8.net」の利用広告主とメディアを引き続き開拓し、その価値をさらに高めていくことでネットマーケティング業界の中で競争力を高めていくこととなります。それに加え、当期同様、パソコン分野ではスマートフォンとソーシャル・ネットワークへの対応が重要な課題になりますし、モバイル分野では利用通信端末の変化に対応した新しい事業展開が必要になると考えています。

サービス区分別売上高			
サービス区分	2009年12月期 (千円)	2010年12月期 (千円)	前期比増減率 (%)
パソコン向けアフィリエイト広告サービス	5,435,300	5,814,724	7.0
携帯向けアフィリエイト広告サービス	2,021,698	2,510,052	24.2
自社媒体運営	177,253	194,999	10.0
他社媒体広告販売	381,761	202,759	△46.9
その他売上	206	40	△80.2
合計	8,016,220	8,722,576	8.8



※上記グラフにおいて当期(2010年12月期)の数値は、第12期のものになります。 ※当社には連結対象子会社がないため、単体決算を記載しております。

**Q パソコン分野のアフィリエイト広告サービスの展開を教えてください。**

**A** まずは「A8.net」のシステム面でのスマートフォン対応をさらに進めなければなりません。現在はiOSに対応した管理ツールの提供を開始していますが、今後はAndroidOSへの対応や、Webベースだけでなくアプリケーションとして提供することなども検討していこうと考えています。またソーシャル・ネットワークは、アフィリエイト広告が本質的に持つ口コミ的伝播と非常に親和性が高いと考えております。このメリットをサービスや営業面に生かせるような改善を行っていききたいと思っております。

**Q モバイル分野のアフィリエイト広告サービスの展開を教えてください。**

**A** モバイル分野は現在、従来の携帯端末からスマートフォンへという急速な変化を遂げています。当社が展開しているモバイル分野のアフィリエイト広告サービス「Moba8.net」およびクリック型広告配信サービス「adocavo」は、従来の携帯端末に向けた広告配信を行っていますので、市場の変化に柔軟に対応していかなければならないと考えております。従来型の携帯端末に向けてのサービスやユーザーの動向に臨機応変に対応していくと同時に、徐々にスマートフォン向けの広告配信を強化していきたいと考えております。

**Q 自社媒体の展開を教えてください。**

**A** 引き続き自社媒体は収益性を考慮しながら、スクラップ&ビルドの考え方で臨みたいと考えております。メディアの分野でも、ソーシャル・ネットワークの持つメリットや考え方をどのように取り入れるかによってその価値が大きく変化する時代だと思います。ソーシャル・ネットワークと自由に入出ししながら、ユーザーの利用価値が高まるような自社媒体を実現していきたいと考えております。また、昨年iOS向けの音楽再生アプリケーション「Lyrica」をリリースしていますが、今後もアプリケーション分野を新たな広告メディアととらえて開発を続けていきたいと考えています。



**Q 事業面の課題やリスクについて教えてください。**

**A** やはりソーシャル・ネットワークやアプリケーション化が進む中で、当社が広告を配信する主たる分野であるWebへのアクセス量や広告配信量が低下するリスクがあります。現状そうした認識はありませんが、仮にそういう状況が訪れても問題ないようにソーシャルネットそのものやアプリケーション上にも広告配信できる領域を広げていきたいと思っております。

また、環境の変化で業界内でもさまざまな統廃合や異業種参入なども予想されます。競合環境にも常に配慮していきたいと考えております。

ンツの中で、当社のアフィリエイト広告サービスはますます広がり、広告主とその広告情報を求める消費者との接点を増やしていけるはずですが、ただ、ソーシャル・ネットワークやスマートフォンなどの分野で収益性のあるビジネスが育つまでには、まだ多少のタイムラグがあると考えています。したがって、それまでに当社としてはしっかり準備を整えておきたいと思っております。

**Q 株主の皆様へのメッセージをください。**

**A** 日ごろから当社を応援いただき、ありがとうございます。当社はまだ会社規模も、主事業の市場規模も小さく、不安定な要素も多い企業ですが、当社のビジネスモデルや私たちの経営を信じていただけることに大変感謝しております。インターネットの普及が私たちの事業環境のみならず、社会全体の仕組みを変えようとしている昨今ですが、この大きな変化を的確にとらえ、社会の中で大きな付加価値を生み出せる企業に育てていきたいと考えております。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

当期中に行ったスマートフォン、ソーシャル・ネットワークへの取り組み



パソコン向けアフィリエイト広告サービスの提携パートナーサイト数と稼働広告主ID数の推移



携帯向けアフィリエイト広告サービスの提携パートナーサイト数と稼働広告主ID数の推移



**インターネットへの接触時間拡大は、当社のビジネスにとって大チャンスです。**

**Q 今後の市場性、成長性をどう見えていますか。**

**A** ソーシャル・ネットワークやスマートフォンの普及は確実にコンテンツを増やし、利用者の利用時間を拡大させていると感じています。そうした膨大なコンテ

貸借対照表 [千円]	第11期 2009年12月31日 現在	第12期 2010年12月31日 現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	3,471,643	4,669,450 ◀1
固定資産	2,109,406	1,772,820 ◀2
資産合計	5,581,049	6,442,271
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,862,029	2,042,593 ◀3
固定負債	96,069	150,823 ◀4
負債合計	1,958,099	2,193,416
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,597,314	4,187,054
評価・換算差額等	△11,192	1,625
新株予約権	36,828	60,174
純資産合計	3,622,950	4,248,854 ◀5
負債純資産合計	5,581,049	6,442,271

**5 純資産**

当事業年度末における純資産の残高は、4,248,854千円（前事業年度末は3,622,950千円）となり、625,903千円の増加となりました。増加の主な要因は、自己株式が△1,191,639千円（前事業年度末は△1,023,639千円）と168,000千円増加したことにより純資産が同額減少した一方、利益剰余金が3,229,983千円（前事業年度末は2,487,203千円）と742,780千円増加したこと、新株予約権が60,174千円（前事業年度末は36,828千円）と23,346千円増加したことによるものであります。自己株式の増加は、市場での買付によるものであり、利益剰余金の増加は、配当金の支払により161,324千円減少した一方、当期純利益の計上により904,105千円増加したことによるものであります。この結果、当事業年度末における自己資本比率は65.0%となりました。

**配当について**

当社は株主の皆様に対する利益還元を重要課題の一つと認識しており、企業体質の強化及び積極的な事業展開を勘案しながら、配当や自己株式の買入れ等を実施していきたいと考えております。具体的には、当面

**1 流動資産**

当事業年度末における流動資産の残高は、4,669,450千円（前事業年度末は3,471,643千円）となり、1,197,807千円の増加となりました。増加の主な要因は、有価証券が1,735,909千円（前事業年度末は887,512千円）と848,396千円増加したこと、売掛金が1,091,794千円（前事業年度末は822,368千円）と269,425千円増加したこと、現金及び預金が1,787,920千円（前事業年度末は1,684,077千円）と103,842千円増加したことによるものであります。

**2 固定資産**

当事業年度末における固定資産の残高は、1,772,820千円（前事業年度末は2,109,406千円）となり、336,585千円の減少となりました。減少の主な要因は、投資有価証券が1,454,751千円（前事業年度末は1,742,757千円）と288,006千円減少したこと、ソフトウェアが52,533千円（前事業年度末は73,726千円）と21,192千円減少したこと、繰延税金資産が93,346千円（前事業年度末は113,956千円）と20,609千円減少したことによるものであります。投資有価証券の減少は、有価証券への振替等によるものであり、ソフトウェアの減少は、減価償却費の計上等によるものであります。

**3 流動負債**

当事業年度末における流動負債の残高は、2,042,593千円（前事業年度末は1,862,029千円）となり、180,563千円の増加となりました。増加の主な要因は、未払法人税等が296,005千円（前事業年度末は386,694千円）と90,689千円減少、未払消費税等が29,285千円（前事業年度末は40,094千円）と10,809千円減少した一方、買掛金が1,414,661千円（前事業年度末は1,153,639千円）と261,021千円増加したことによるものであります。未払法人税等の減少は、当期分を計上し増加した一方、確定申告や中間申告の納税により減少したことによるものであり、買掛金の増加は、売上増加に伴いパートナーサイトへ支払う成果報酬が増加したことによるものであります。

**4 固定負債**

当事業年度末における固定負債の残高は、150,823千円（前事業年度末は96,069千円）となり、54,753千円の増加となりました。増加の要因は、預り保証金が150,823千円（前事業年度末は96,069千円）と54,753千円増加したことによります。預り保証金の増加は、一部広告主の保証金取扱高の増額によるものであります。

の配当方針について、純利益の20%程度を配当性向とし、当期につきましては1株当たり1,900円の配当を予定しております。なお、次期の配当につきましては、配当性向は20%程度を予定しており、年間配当2,000円と予定しておりますが、業績の変動により配当性向及び配当金額が変動する可能性があります。

**損益計算書**

[千円]	第11期 2009年 1月 1日から 2009年12月31日まで	第12期 2010年 1月 1日から 2010年12月31日まで
売上高	8,016,220	8,722,576 ◀1
売上原価	5,226,461	5,709,606 ◀2
売上総利益	2,789,759	3,012,970 ◀2
販売費及び一般管理費	1,461,056	1,583,142 ◀3
営業利益	1,328,702	1,429,828
営業外収益	100,900	71,831
営業外費用	5,827	694
経常利益	1,423,775	1,500,965 ◀4
特別利益	1,573	3,702
特別損失	149,186	263
税引前当期純利益	1,276,163	1,504,403 ◀5
法人税、住民税及び事業税	587,600	592,080
法人税等調整額	△59,047	8,218
法人税等合計	528,552	600,298
当期純利益	747,610	904,105 ◀5

**キャッシュ・フロー計算書**

[千円]	第11期 2009年 1月 1日から 2009年12月31日まで	第12期 2010年 1月 1日から 2010年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,201,430	933,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△200,289	△534,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	△556,953	△295,290
現金及び現金同等物の増減額	444,187	103,842
現金及び現金同等物の期首残高	1,139,890	1,584,077
現金及び現金同等物の期末残高	1,584,077	1,687,920

※当社には連結対象子会社がないため、単体決算を記載しております。

**1 売上高**

当事業年度はパソコン向けアフィリエイト広告サービス及び携帯向けアフィリエイト広告サービスの売上が順調に推移し、総売上高は8,722,576千円（前期比8.8%増）となりました。

**2 売上原価・売上総利益**

当事業年度における売上原価は5,709,606千円（前期比9.2%増）、売上総利益は3,012,970千円（前期比8.0%増）となりました。パソコン向け及び携帯向けアフィリエイト広告サービスの成果報酬増加に伴い、売上原価率は前年の65.2%から65.5%へと0.3ポイント増加いたしました。この結果、売上総利益率も0.3ポイント減少し34.5%となりました。

**3 販売費及び一般管理費**

販売費及び一般管理費は1,583,142千円（前期比8.4%増）となりました。販売費及び一般管理費の主な内訳は給料572,243千円（前期比10.3%増）、広告宣伝費98,831千円（前期比5.8%増）、販売手数料156,696千円（前期比11.6%増）、地代家賃114,769千円（前期比7.4%減）であります。給料の増加の主な要因は、社内管理体制強化や営業体制の強化に伴う人員の増加があったことによるものであります。

**4 経常利益**

経常利益は、1,500,965千円（前期比5.4%増）となりました。有価証券利息58,620千円、投資有価証券売却益8,010千円を計上したことにより、売上高経常利益率は前期比0.6ポイント減少し17.2%となりました。

**5 税引前当期純利益・当期純利益**

税引前当期純利益は、新株予約権戻入益及び償却債権取立益を計上した結果、1,504,403千円（前期比17.9%増）となりました。また当期純利益は904,105千円（前期比20.9%増）となりました。これにより、売上高当期純利益率は前期比1.1ポイント増加し、10.4%となりました。1株当たり当期純利益は、前事業年度の7,796円22銭から当事業年度は9,520円16銭となりました。

2010年12月31日現在

## 会社概要

商号	株式会社ファンコミュニケーションズ
本社所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-8 青山ダイヤモンドビル8階
設立	1999年10月1日
資本金	9億4,838万円
従業員数	184名(アルバイト含む)
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

## 役員

代表取締役社長	柳澤 安慶 (やなぎさわ やすよし)
取締役副社長	松本 洋志 (まつもと ひろし)
取締役	佐藤 吉勝 (さとう よしかつ)
取締役	広瀬 計 (ひろせ はかる)
取締役	堂下 裕章 (どうした ひろあき)
常勤監査役	柳澤 信美 (やなぎさわ のぶよし)
監査役	柿本 謙二 (かきもと けんじ)
監査役	出澤 秀二 (いでさわ しゅうじ)

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	株数百分率(%)
柳澤 安慶	33,340	31.6
(株)ファンコミュニケーションズ	11,013	10.4
楽天(株)	5,779	5.5
アール・シー・ワイ・ブラザーズ(株)	4,870	4.6
松本 洋志	3,507	3.3
張 力牧	3,121	3.0
内田 徹	2,452	2.3
小林 直行	2,139	2.0
杉山 紳一郎	1,815	1.7
薄井 保男	1,120	1.1

## 株式の状況

発行可能株式総数	300,000株
発行済み株式総数	105,390株
株主数	4,416名

## 株式の分布



2010年12月31日現在

## 当期の主な動き

Mobile

「Moba8.net」の提携パートナー数、  
10万サイトを達成

1月

携帯向けアフィリエイト広告サービス「Moba8.net」の提携パートナーサイト数が1月26日、10万サイトに達しました。同時に、新規会員獲得の記念キャンペーンを実施しました。



Mobile

スマートフォン向け広告配信  
サービス「nend」を開始

4,7,10月

スマートフォン向け広告配信サービス「nend」のテスト配信を4月に開始し、7月にベータ版としてリリースしました。以来、順調にネットワークを拡大し、9月には月間の広告表示回数が1億回を突破しました。さらに10月には、iPhoneに加えAndroid端末への広告配信も始めました。



PC

「A8.net」がサービス開始10周年

6月

パソコン向けアフィリエイト広告サービス「A8.net」が6月14日、サービス開始10周年を迎えました。同日から7月20日まで『A8.net10周年記念サイト』を開設し、過去にリリースされたサービスや機能など10年の歩みを紹介したほか、会員の皆様への感謝の意を込めたプレゼント企画なども実施しました。



Mobile

音楽再生アプリ「Lyrica」を公開

6月

iPhone・iPodに対応した歌詞も見られる無料の音楽再生アプリ「Lyrica」の配信を、6月29日からアップルのアプリ配信サービスApp Store上で開始しました。「iTunes Rewind 2010 (TOP10 FREE)」のミュージックカテゴリーで1位を獲得するなど、人気アプリになっています。



PC

第5回「A8フェスティバル」を開催

9月

「A8.net」が「Feel, A8!」をテーマに、広告主とアフィリエイトの交流イベントを都内で開催しました。約500名のアフィリエイトが来場し、出展広告主(31社)の商品・サービスを“触って・感じて・知って”もらう絶好の機会となりました。



PC

「A8.net」の提携パートナーが  
100万サイトを突破

12月

「A8.net」の提携パートナーサイト数が100万サイトを突破しました。累積での契約広告主数も12月時点で1万IDを突破しています。「A8.net」のネットワーク規模は、アフィリエイトプログラム運用代行サービスとして国内最大級となっています。



PC

「A8.net」が2010年アフィリエイト  
ASP満足度調査で第1位を獲得

12月

「A8.net」が昨年に続き、特定非営利活動法人アフィリエイトマーケティング協会の「アフィリエイトプログラムに関する意識調査2010年」で、アフィリエイトが選ぶ最も満足度の高いASPで第1位を獲得しました。提携できる広告の多さ、管理画面の使いやすさ、ノウハウ等の情報提供などが評価されました。